日本共産党

平野光一

●市立病院は現地で建てかえを

問 市長が判断を誤れば事態はさらに深刻になる。共産党の全市的アンケートでも、現地で建てかえ6割、キャンパス地区に移転2割、わからない2割である。市長は地元の願い、市民の願いを何より大事にしたか。

答 病院周辺地域での一次医療の継続、柏全体の住民福祉という2つの視点で考えている。

●北部開発と柏市政のゆがみ

問 開発に関係して巨額の税金の無駄遣いが強いられた。開発による人口急増で平成27年には44万3000人と予測して第二清掃工場もつくった。この清掃工場は幾らかかったか。人口予測の間違いを認めるか。

答 第二清掃工場は建設費など合計で470億円である。人口計画は当初と今と違う。市長就任後に人口予測を変えた。

●小中学校にエアコン設置を

問 東葛8市の状況を調べた。本市以外の7市は全て設置済みか設置を計画している。本市は計画さえないがどうか。

答 大変重要だが、公共施設全体の老朽化対策も必要で、適切な時期に適切な判断をする。

●かやの町の道路の安全対策

問 保育園、児童センター、老人いこいの家がある。なぜ町会の要望を無視する工事がされたのか。今後どう改善するか。

答 さらに安全対策が必要か関係者と協議して判断する。

渡部和子

●市立病院建てかえ問題

問 誠実に市民に向き合わないまま移転を決めることがあってはならない。疑問に答えることが優先されるべきではないか。

答 市の考え方についてしっかり説明していきたい。

問 市長はいろいろな関係者と話し合いができてないと言うが誰とどんな調整をしてきたのか。

答 医療関係者や医療専門家の方の意見をお聞きしている。

問 8月19日の地域住民との懇談で、三井不動産が1千億円を投資していると言ったが三井と約束でもあるのか。ゲノムの研究会はその後開かれているのか。

答 三井との約束はない。研究会も行なわれていない。

●放射能対策

問 環境省は生活圏に近い河川は必要に応じ除染すると示した。柏の葉公園や大堀川の放射能対策を県に強く要請すべきでは。

答 県と連携をとって対応していく。大堀川の看板はわかりやすい表示にするよう求めていく。

問 子どもの健康を守るため甲状腺エコー検査助成を求めるが。

答 現時点では考えていない。電話相談、ホールボディカウンター測定助成を継続していく。

●キャンパス駅駐輪場

問 一時利用を1000台見込んだが、実際は240台ほど。市の管理に戻すべきでは。また利用者アンケートの実施方法は。

答 アンケートは6項目調査。民間を指導するのが我々の役目。

日下みや子

●子どもの遊び場を奪わないで

問 長年無料で開放してきた中央体育館の幼児体育室が今年度から有料になった。利用者も減っている。せめて子どもからの料金は取るべきではない。

答 行革の意見で受益者負担の適正化基準に沿った対応である。料金は配慮し、設定している。

問 「親子のふれあい」と位置づけ平日の3時から5時まで無料開放してきた近隣センター体育館も今年度から有料になった。結果、利用者も半減。改善を。

答 子どもの利用率が低く無料開放をやめた。土、日、祝日、長期休みは今後も開放する。

●下総基地の騒音の測定

問 環境基準の指定地域以外でも松戸市は測定をしている。県は市が測定するなら測定器の貸し出しをするという。飛行経路の直下の地域の測定をすべきではないか。

答 他市の状況を調査し、県と協議する。

●本市の国保事業について

問 本市の国保事業の25年度決算は21億円の黒字だ。前年度からの繰越金があるからだ。もとを正せば22年度に国保料を上げ過ぎたからだ。しかも3億円の積立金もある。取り過ぎた分を市民に返してほしいがどうか。

答 一般会計からの4億4000万円の繰入金と前年度からの繰越金20億3000万円が含まれている。今年度は実質約4億円の赤字で引き下げはできない。

武藤美津江

●子ども・子育て支援制度

問 非課税世帯からの保育料徴収は行うべきではないのでは。

答 非課税世帯の保育料の負担の適正化、利用者負担の公平性の観点から、応能負担の考え方を含めて意見を伺っている。

●認知症対策

問 認知症でも精神障害者保健福祉手帳が取得できるということの周知をしてほしいがどうか。

答 手帳等の障害者施策の案内が適切にできるよう、職員の対応力の向上や担当課の連携を図りながら、市民向けリーフレットの作成なども検討していく。

●こどもルームの整備

問 こどもルームの静養室の整備を進める必要があるがどうか。

答 静養室については現在、41ルーム中23ルームの設置にとどまっている。未整備のルームに対して、所要の予算措置を講じるなど、その措置に努める。

●高柳東映団地周辺の雨水対策

問 東映団地周辺の雨水対策は、現在の上大津川の整備が急がれるがどうか。

答 今年度は大津川合流点から東武線までの全線約1.1kmの現況測量と基本設計を行う。高柳・藤ケ谷新田線整備事業の排水計画も検討中である。

●沼南公民館について

問 沼南公民館を近隣センターに移行する要望はあったか。

答 そういった要望の話し合いはない。

護憲市民会議

本池奈美枝

●市立病院は現在地建てかえを

問 市長は「新しい場所で新しい病院を目指す」と柏北部中央地区を選んだ。この土地は今後ふえる子供たちの学校用地として確保されていた。何を根拠に外したのか。24億円の取得費捻出のため現地を売却する議論もあるがどうなのか。更に現地建てかえの請願も出され、まだ審議中に移転すると発表した市長の行為は議会軽視だ。市民の税金約144億円投資しての移転。現地建てかえは約118億円と試算されている。約26億円もの市民の血税をどう考えるのか。

答 引き続き説明会を開き協議を進める。柏北部地区は16号線から至近で最寄り駅からも徒歩圏内で将来の発展が望める。小児医療の拠点として整備したい。学校用地としての利用は学校配置見直しにより新たな小学校の配置はないとのこと。現地建てかえではローリング方式（※）で14億円増加する。現地の売却は考えていない。全市民には今後も説明していく。

●放射能対策

問 7月6日に中央公民館で本市で初めて甲状腺エコー検査が行われた。主催は環境とエネルギー柏の会。120名の子供たちが受診。本市からの補助は一切ない。松戸市では市立病院での受診体制があり補助もしている。なぜ本市ではできないのか。

答 甲状腺の健康調査は国の責任で行うべきであり、市単独での実施は考えていない。

●沼南公民館の近隣センター化

問 公民館は法律に定められた事業が行われ市民の教養の向上を図る場である。近隣センターは市の条例で運営され目的が違う。また各近隣センターで行われていた生涯学習事業が事業仕分けで廃止された。中核市として公民館は2つ必要ではないか。

答 合併協定書のとおり近隣センター移行に向けて利用団体や地域住民と話し合いを進める。10月には利用団体の代表者と意見交換を11月にパブリックコメントを予定し意見を聞いていく。

●子ども・子育て支援制度

問 新制度が来年4月1日から始まる。保育所は市が実施し、それ以外は利用者と施設が直接契約となる。保育環境や保育士の配置等格差が生じないか。

答 パブリックコメントによる市民の意見や審議会での答申等、今後支援事業計画に位置づける。

沼南公民館

無所属

内田博紀

●2013年度歳入歳出決算の認定について（議案第15号）

問 チャレンジドオフィスかしわの実績報告を求める。

答 チャレンジドオフィスかしわを開設した経緯だが、平成24年第4回定例会で議員からも障害者の就労支援の一つとして取り上げられたことを契機に、実施されていた事例を参考に調査検討を重ね、開設することとなった。チャレンジドオフィスかしわは、行政が積極的に障害者を雇用し、勤務環境の安定や自信をつけるステップアップを図ることにより、企業への就労を支援するものである。チャレンジドオフィスかしわも2年目を迎え、庁内の周知や理解も進み、障害者の就労支援の一つとして定着しつつあるものと考えている。

問 広報かしわにユニバーサルデザインを導入した効果は何か。

答 ユニバーサルデザインフォントは、文字のデザインの空き部分を広げたり、はねなど、読みにくい部分をシンプルにすることにより、お年寄りや障害者の方にとっても読みやすい書体となっている。平成24年第2回定例会で議員から提案いただいた色使いについても、カラー面の色使いや2色面の色パターン数を極力抑えることで、視覚障害をお持ちの方や色弱の方も含めて、全ての方にとって読みやすくなるよう、工夫しているところである。今後も市政情報が伝わりやすい紙面となるよう、デザインなどの研究に、引き続き取り組んでいきたいと考えている。

議会を傍聴しませんか

柏市議会の本会議及び委員会は原則公開となっています。本会議の傍聴を希望される方は、本庁舎7階の傍聴席入口にある受付票に、住所、氏名を記入し、傍聴席にお入りください。また、委員会の傍聴は、本庁舎6階の議会事務局で受け付けしてください。

※ローリング方式：実施計画と基本計画のズレを埋めるために、施策・事業の見直しや部分的な修正を、転がすように定期的に行っていく手法。